

## 令和 7 年度 自治と協働の職員研修実施要項（案）

### 1. 目的

- ①協働の基本指針改定に関連した職員協働研修を職員・市民の双方向で実施する。
- ②先進自治体の事例発表に基づき、例年通りグループワークで議論と課題を共有する。
- ③他市と比較することで本市の現在地を知り、各職域で「市民と行政の自治と協働の今後のあり方」を検討・発表する機会とする。

以上の 3 点を目的として、【令和 7 年度 自治と協働の職員研修】を実施する。

### 2. 参加対象

- 係長級の職員を含む各課 2 名ずつ（計 90 名程度）  
※ 当該職員の都合がつかない折は、可能な限り代理職員が出席すること。
- 橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会委員（15 名程度）

### 3. 日時及び場所

令和 7 年 11 月 25 日 午前の部： 9：30 ～ 11：30 午後の部：13：30 ～ 15：30

@教育文化会館 3 階第 1 研修室

### 4. プログラム（内容は録音する）

- ① 開会 9 時 30 分（13 時 30 分）～  
開会挨拶（午前：堀内委員長、午後：市長）  
司会（午前：森田委員・午後：東委員）、研修説明（平田委員）
- ② 滋賀県高島市 市民協働課 兼田さんによる講話 9 時 35 分（13 時 35 分）～
  - 令和 6 年度協働のまちづくり推進指針の改定について
  - 改定後の指針を活かした市の事業展開
  - 高島市の現在の取り組み紹介
- ③ ワークショップ 10 時 05 分（14 時 05 分）～  
ワークショップの流れ説明（ 委員）
  - テーマ①高島市の兼田さんの講演から最も学べたこと②市民と行政の協働のために今 1 番必要なこと
  - 1 グループ 6～8 名（うち 1, 2 名はぐくむ委員）、7～8 グループでワークを行う。
- ④ 発表（10 分程度） 11 時 05 分（15 時 05 分）～
  - テーマに基づき代表で 2 グループが 5 分以内で発表。
- ⑤ 講評（5 分程度） 11 時 15 分（15 時 15 分）～  
和歌山大学名誉教授 堀内 秀雄 氏

⑥ 閉会（2分程度） 11時20分（15時20分）

閉会挨拶 AM：市長 PM：乾委員

※市長出席時に挨拶を頂く予定。（午前：後半部分、午後：冒頭部分）

## 5. 研修後の対応

研修会開催後に、はぐくむ委員による職員研修反省会を実施し、以下の点について協議・決定を行う。

- ・事後アンケートや「自治と協働に関する職員アンケート」の内容について